

## 技能五輪国際大会に向けて

前号でご紹介しましたとおり、技能オリンピック国際大会がカナダ、カルガリーで開催(本年8月下旬～9月上旬)されます。

家具種目、建具種目に参加される選手の近況が伝わってきましたので、ご紹介します。

日本の若い選手が世界で活躍できるよう微力ながら応援できればと思っています。

## がんばれ 日本選手!!

技能五輪国際大会(カナダ・カルガリー大会)参加選手

選手名 中島 一樹  
出場種目 家具職種  
略歴  
有限会社ミツマサ 勤務  
技能五輪全国大会家具職種  
45回 銀  
46回 金  
第40回技能五輪国際大会  
家具職種日本代表

選手名 西田 雄哉(20歳)  
出場種目 建具職種  
略歴  
平成19年3月 北海道中川郡池田町  
池田高等学校卒業  
平成19年4月 北海道立帯広高等技術専門学院  
造形デザイン科入学(2年訓練)  
(技能五輪全国大会出場)世界大会代表に決まる  
平成21年3月 同修了  
平成21年4月 帯広市東1条南14丁目  
有限会社 高橋加工部入社現在に至る  
平成21年9月 第40回技能五輪国際大会出場予定



スライドソー使用中の  
中島選手

標準的なスライドソーでも、日本製の横切り盤や昇降盤とは少し設計思想が違うため、やはり訓練が重要です。



スピンドルモルダー使用中の  
西田選手

最も重要かつ、訓練が必要なスピンドルモルダー。日本では、危険であるという間違った認識から、その使用頻度が非常に少ない機械です。しかし、正しく使えば、安全なことはもちろん、加工内容が大きく広がる機械です。技能五輪では、通常、ホゾ取り、直線モルダー、曲線面取りの3つの使用方法が採用されます。

モータイザー

この機械はあまり日本ではお目にかかりません。しかしその使用頻度は非常に高いので、訓練が不可欠です。楕円ホゾ穴や、ドアの鍵穴加工等のスロットチング、またボーリングマシン、時には角ノミとしても使用されます。



## スピンドルモルダーについて思うこと

上の記事でも少し書きましたが、スピンドルモルダーという機械は、非常に危険であるという間違った認識がされていると思います。特に大きなカッターをつけた場合には、その回転数などから恐怖感を感じることは否定できません。

しかし、私見としまして、横切り等のチップソーが回転している機械や、カッターを取り付けた昇降盤等と比較した場合、同じ程度の危険性(安全性?)だと思います。逆に、割り刃をつけていないチップソーや、回転数の合っていないカッターのほうが危険かもしれません。

正しく安全装置や、工具を使用することは当然として、さらに、カッターの大きさに合わせた、正しい回転数、刃数、切削量、モーター馬力、軸径などを理解していれば決して危険とばかりはいえません。また、世界中の多くの国で、一般的な汎用機として普通に導入されており、国によっては、アマチュアでさえ使用しています。

さらに、スピンドルモルダーを使いこなすことで、最近流行の海外製ツールチェンジャー付CNCでの、大型カッター使い方が理解できます。

どんな刃物をどんな回転数で、どんな速度で使えばきれいに抵抗なく削れるのかを勉強するには最高の機械です。

## 有限会社 ホルツテクニカ東京

東京都葛飾区青戸2丁目2番1号  
大坪ビル201号

TEL 03-5654-0791 FAX 03-5654-0792

URL:<http://www.felder-tokyo.jp>

## 有限会社 ホルツテクニカナゴヤ

愛知県犬山市下榎島59-1

TEL 0568-69-2881 FAX 0568-69-2884

URL:<http://homepage3.nifty.com/holz/>

お近くの代理店は

